

狛江市実行プラン

(進捗管理 平成30年度版)

平成30年8月

狛江市

目 次

1. 計画の目的・位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
2. 計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
3. 体系図・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
4. 進捗管理	
(1) 平成 29 年度実施事業(新規・拡充分)進捗管理・・・・・・・・	P 5
(2) 後期基本計画の指標に係る進捗管理	
①重点プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・	P10
②個別施策・・・・・・・・・・・・・・・・	P12

1. 計画の目的・位置付け

市では、第3次基本構想「私たちがつくる水と緑のまち」の実現に向けた市のマスタープランとして、平成25年3月に「狛江市後期基本計画」を策定し、その中で、市が抱える主要課題を解決するために優先的に取り組む施策を「重点プロジェクト」として位置付けています。

この実行プランでは、その「重点プロジェクト」のうち、行財政改革推進プロジェクトを除く5つのプロジェクト(まちづくり推進プロジェクト、安心して安全なまちづくりプロジェクト、子ども・子育て支援プロジェクト、いたわりのあるまちづくりプロジェクト、にぎわいのまち「狛江」プロジェクト)について、その着実な進展を図るため、事業の実施状況や後期基本計画に設定された指標を基に進捗管理を行っています。

2. 計画の構成

本プランは、各重点プロジェクトの推進を目的として、以下の項目で構成しています。

(1) 平成29年度実施事業(新規・拡充分)進捗管理

実行プラン(平成29年度ローリング版)に基づき実施した事業の進捗管理

(2) 後期基本計画の指標に係る進捗管理

重点プロジェクト及び個別施策に設定されている指標に係る現状値及び平成30年度の目標の進捗管理

3. 体系図

各重点プロジェクトの施策の体系(平成 29 年ローリング版)は以下のとおりです。
また、粕江市総合戦略との関連性を示しています。

実行プラン			総合戦略
プロジェクト	施策名 事業名		
① まちづくり推進 プロジェクト	施策 i 水道局用地の利活用		
	1 和泉多摩川緑地都立公園誘致推進		—
	2 広場等の利活用		—
	施策 ii 水道道路の安全確保		
	3 水道道路の安全確保		—
	4 都市計画道路の整備		—
	施策 iii 公共施設の有効活用		
	5 地域・地区センター改修等		—
	6 駅前仮園舎の活用(福祉作業所の統合)		—
	7 児童館整備等		基本方針 2 テーマ 2
	8 学童クラブ整備等		基本方針 2 テーマ 2
	9 小学校改修等		—
	10 中学校改修等		—
	11 子育て・教育支援複合施設新設		—
	12 あいとびあセンター改修		—
	13 市民ホール改修・修繕		—
	14 粕江駅北口地下駐車場改修		—
	15 消防施設改築等		—
	16 リサイクルセンター改修		—
	17 西河原公民館改修等		—
	18 市民センター改修		—
	19 粕江駅前三角地※の利活用		基本方針 1 テーマ 2
② 安心して安全なまちづくり プロジェクト	施策 i 地域の活動への支援		
	20 地域の防犯力向上		基本方針 1 テーマ 1
	21 安心して安全なまちづくりの推進体制の構築		基本方針 1 テーマ 1
	22 地域の防災力向上		基本方針 1 テーマ 1
	施策 ii 道路修繕の計画的推進		
	23 安心・安全な道路整備		—
	施策 iii 災害対応体制の整備		
	24 災害対応体制の整備		基本方針 1 テーマ 1
	25 避難行動要支援者支援体制の構築		基本方針 1 テーマ 1
	施策 iv 放射能対策の推進		
	26 安心・安全な給食の提供		—
	27 放射線量の公表		—

※現在は、「えきまえ広場」に名称を変更

実行プラン			総合戦略
プロジェクト	施策名		
	事業名		
③ 子ども・子育て支援プロジェクト	施策ⅰ 子どもの育ちの支援		
	28	自由な遊び場の提供	基本方針2 テーマ2
	29	保育園等の安定した運営	基本方針2 テーマ2
	30	保育受入れ体制の拡充	基本方針2 テーマ2
	31	保育園の民営化	基本方針2 テーマ2
	32	安心・安全な給食の提供(再掲)	—
	施策ⅱ 子育て家庭の支援		
	33	みんなで子育て事業	基本方針2 テーマ1
	34	情報収集の場づくり	基本方針2 テーマ1
	35	経済的負担の軽減	基本方針2 テーマ1
	36	要保護児童対策	基本方針2 テーマ1
	施策ⅲ 新たな時代に即した学校教育の推進		
	37	学習しやすい環境づくり	—
	38	新たな時代に即した学校教育の推進	—
④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト	施策ⅰ 外出しやすいまちづくり		
	39	ユニバーサルデザインの推進(ソフト)	—
	40	ユニバーサルデザインの推進(ハード)	—
	41	補装具費支給事業	—
	42	外出手段の充実	—
	43	安心・安全な道路整備(再掲)	—
	施策ⅱ 社会参加への支援		
	44	地域福祉計画等策定	基本方針3 テーマ1
	45	地域の活動機会の確保	基本方針3 テーマ1
	46	駅前仮園舎の活用(福祉作業所の統合)(再掲)	—
	47	高齢者の健康増進	基本方針3 テーマ1
	施策ⅲ 生活環境の整備		
	48	地域の社会基盤整備推進	—
	49	地域包括ケアシステムの構築推進	—
	50	総合的見守り体制の整備	—
	51	生活困窮者への自立支援	—
	施策ⅳ 災害時要援護者支援体制の構築		
	52	避難行動要支援者支援体制の構築(再掲)	基本方針1 テーマ1
⑤ にぎわいのまち「狛江」プロジェクト	施策ⅰ 商工業の活性化		
	53	新たな市場開拓	基本方針1 テーマ2
	54	にぎわいのある商店街	基本方針1 テーマ2
	施策ⅱ 狛江ブランドの確立		
	55	狛江ブランド野菜※の確立	基本方針1 テーマ2
	施策ⅲ まちの魅力の発信		
	56	特色ある地域文化の振興(音楽事業・絵手紙事業)	基本方針1 テーマ2
	57	にぎわいのあるイベントの開催	基本方針1 テーマ2
	58	まちの魅力づくり・魅力発信	基本方針1 テーマ2
	59	多摩川の利活用の推進	基本方針1 テーマ2
	60	広域連携による魅力の発信	基本方針1 テーマ2
	施策ⅳ 地域スポーツの振興		
	61	スポーツ事業の充実	基本方針3 テーマ1

※現在は、「狛江ブランド農産物」に名称を変更

狛江市総合戦略の推進に向けて、各テーマに対して、実行プランの事業を以下のとおり位置付けています。

総 合 戦 略		実 行 プ ラ ン		
基 本 方 針		プロジェクト 施 策	事 業 名	
テ ー マ				
基本方針１ 魅力あるまちづくり				
1	安心・安全なまちの推進	②- i	20	地域の防犯力向上
		②- i	21	安心で安全なまちづくりの推進体制の構築
		②- i	22	地域の防災力向上
		②- iii	24	災害対応体制の整備
		②- iii	25	避難行動要支援者支援体制の構築
		④- iv	52	避難行動要支援者支援体制の構築(再掲)
		2	狛江の自然や文化をいかした活性化	①- iii
⑤- i	53			新たな市場開拓
⑤- i	54			にぎわいのある商店街
⑤- ii	55			狛江ブランド野菜*の確立
⑤- iii	56			特色ある地域文化の振興(音楽事業・絵手紙事業)
⑤- iii	57			にぎわいのあるイベントの開催
⑤- iii	58			まちの魅力づくり・魅力発信
⑤- iii	59			多摩川の利活用の推進
⑤- iii	60			広域連携による魅力の発信
基本方針２ 子育てしやすいまちづくり				
1	子どもが健やかに育つ家庭への支援	③- ii	33	みんなで子育て事業
		③- ii	34	情報収集の場づくり
		③- ii	35	経済的負担の軽減
		③- ii	36	要保護児童対策
2	子育て環境の充実	①- iii	7	児童館整備等
		①- iii	8	学童クラブ整備等
		③- i	28	自由な遊び場の提供
		③- i	29	保育園等の安定した運営
		③- i	30	保育受入れ体制の拡充
		③- i	31	保育園の民営化
基本方針３ 市民が活躍するまちづくり				
1	地域に貢献できる人材の育成	④- ii	44	地域福祉計画等策定
		④- ii	45	地域の活動機会の確保
		④- ii	47	高齢者の健康増進
		⑤- iv	61	スポーツ事業の充実

※現在は、「狛江ブランド農産物」に名称を変更

4. 進捗管理

(1) 平成29年度実施事業(新規・拡充分)進捗管理

平成29年度は、実行プラン(平成29年度ローリング版)に基づき、重点プロジェクトの推進に向けて以下の事業を実施しました(新規・拡充分)。

プロジェクト	施策	事業名	新規・拡充した事業
①まちづくりプロジェクト推進	水道局用地の利活用	和泉多摩川緑地都立公園誘致推進	▼和泉多摩川緑地都立公園誘致協議 ▼フォーラム等の開催
		広場等の利活用	▼公園用地の利用について東京都と調整 ▼元和泉市民運動ひろばの整備
	水道道路の安全確保	水道道路の安全確保	▼東京都が道路整備事業に伴い実施する事業への協力・支援 ▼調布都市計画道路3・4・16号線基本計画策定及び講演会開催
		都市計画道路の整備	▼調布都市計画道路3・4・16号線(電力中央研究所前)の整備に係る用地取得及び設計
	公共施設の有効活用	駅前仮園舎の活用(福祉作業所の統合)	▼元保育園仮園舎改修工事 ▼福祉作業所の暫定的な統合・運用 ▼西野川福祉作業所解体工事
		児童館整備等	▼(仮称)北部児童館新築工事実施設計
		学童クラブ整備等	▼猪方学童保育所改修工事 ▼(仮称)東野川放課後クラブ新築工事設計
		小学校改修等	▼一小児童増対策工事基本設計 ▼一小児童増対策工事実施設計(給食室増築等) ▼三小家庭科室改修工事設計・改修工事 ▼五小教室等整備工事設計 ▼緑野小特別教室空調工事設計 ▼五小・和泉小プール槽改修工事 ▼五小・六小小荷物専用昇降機改修工事 ▼五小・六小プール循環設備改修工事 ▼五小・和泉小プールシャワー温水化工事設計 ▼六小管理諸室・特別教室空調工事 ▼和泉小管理諸室・特別教室空調工事 ▼緑野小給水管改修工事
			▼一中特別教室空調工事設計 ▼一中特別教室空調工事 ▼三中プール改修工事設計 ▼四中プール槽改修工事
		中学校改修等	
		子育て・教育支援複合施設新設	▼子育て・教育支援複合施設整備庁内検討委員会の設置・検討 ▼子育て・教育支援複合施設新築工事基本設計
		あいとびあセンター改修	▼あいとびあセンター改修工事
		市民ホール改修・修繕	▼調光盤室エアコン修繕 ▼空調設備ドレン再生 ▼非常用照明蓄電池交換 ▼エレベーターメインワイヤー交換
		消防施設改築等	▼旧消防団第三分団器具置場解体工事
		リサイクルセンター改修	▼ピン・缶リサイクルセンター改修工事
		西河原公民館改修等	▼西河原公民館改修工事 ▼映像機器更新 ▼舞台幕類更新 ▼客席照明更新
		市民センター改修	▼団体からの提案をベースとした調査
		狛江駅前三角地の利活用	▼狛江駅前三角地整備 ▼正式名称(えきまえ広場)の決定 ▼ネーミングライツ(メビウス∞えきまえ広場)の導入

プロジェクト	施策	事業名	新規・拡充した事業
② 安心して安全なまちづくり	地域の活動への支援	地域の防犯力向上	▼ながら見守りの推進 ▼自動通話録音機の貸与
		安心して安全なまちづくりの推進体制の構築	▼安心安全条例に規定する施策を推進するための体制の整備等 ▼日本一安心して安全なまち推進キャラクターを活用した広報 ▼安心安全に係る広報紙の作成・配布
		地域の防災力向上	▼自主防災組織の活動支援 ▼防災カレッジの開催 ▼都市農地保全プロジェクトを活用した防災兼用農業用井戸の設置
	道路修繕の計画的推進	安心・安全な道路整備	▼道路舗装の打換 《延長約902m》 ▼道路舗装の打換及び排水設備の設置 《延長約625m》 ▼八幡通り整備に係る設計、測量及び用地取得 ▼路面下空洞調査の実施 ▼市道第9・19・28・304・373・423・609・660・723・726・738・771・836号線 (道路維持・道路新設)
	災害対応体制の整備	災害対応体制の整備	▼災害対策用備蓄品・備品の拡充 ▼デジタルサイネージの設置 ▼被災者生活再建支援システムの導入 ▼地域防災計画の修正 ▼防災ガイドの改訂 ▼防災行政無線戸別受信機の設置 ▼災害医療コーディネーターの設置準備 ▼避難場所表示板の設置拡大
		避難行動要支援者支援体制の構築	▼支援組織との協定締結に基づく避難行動要支援者登録名簿の提供 ▼個別計画策定の検討 ▼新たな災害ベストの作製及び配布
	放射能対策の推進	放射線量の公表	▼空間放射線量測定器の貸出し

プロジェクト	施策	事業名	新規・拡充した事業
③ 子ども・子育て支援	子どもの育ちの支援	自由な遊び場の提供	▼こども自由ひろばの暫定活用
		保育園等の安定した運営	▼民営化保育園(私立認可保育園いずみ保育園)に対する委託費の支給(新設1園, 計2園) ▼私立認可保育園に対する委託費の支給(新設3園, 計10園) ▼小規模保育事業に対する給付費の給付(新設1所, 計3所) ▼家庭的保育事業に対する給付費の給付(1所) ▼認定こども園・幼稚園等特定教育・保育施設への施設型給付費等の給付 ▼保育従事職員宿舍借上げ補助金の拡充 ▼保育所等賃借料補助金の交付
		保育受入れ体制の拡充	▼民営化保育園(いずみ保育園)の開園(1園)(定員17人増) ▼私立認可保育園の開園(3園)(定員219人) ▼小規模保育事業所の開設(1所)(定員19人) ▼一時預かりの拡充(いずみ保育園3人, 東野川保育園みんなの家1人及び新設保育園1園) ▼家庭福祉員による一時預かりの実施
		保育園の民営化	▼民営化保育園(いずみ保育園)の開園(1園)
	子育て家庭の支援	情報収集の場づくり	▼子育てポータルサイトの再構築・運用
		経済的負担の軽減	▼私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業費補助金の交付 ▼認証保育所等入所児童保護者負担軽減補助金の拡充
	新たな時代に即した学校教育の推進	学習しやすい環境づくり	▼中学校の実情に即した, 発達障がい生徒への支援体制に関する具体的な課題や必要な対応策について研究・検証するための中学校特別支援教室モデル事業の実施 ▼支援チームによる不登校支援モデル事業の実施 ▼教育支援センター機能強化モデル事業の実施 ▼小学校における自閉症・情緒障がい固定学級設置に向けた検討・準備
		新たな時代に即した学校教育の推進	▼中学校特別支援教室(通級)におけるタブレット型ICT※ ¹ 機器の導入 ▼オンライン英会話授業の実施 ▼人型ロボットを活用したプログラミング教育の実施

プロジェクト	施策	事業名	新規・拡充した事業
④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト	外出しやすいまちづくり	ユニバーサルデザイン※ ² の推進(ハード)	▼みんなにやさしい生活空間づくり推進事業補助金の交付
		外出手段の充実	▼乗降調査結果を踏まえたサービス向上のための取り組みの検討
		安心・安全な道路整備(再掲)	▼道路舗装の打換 《延長約902m》 ▼道路舗装の打換及び排水設備の設置 《延長約625m》 ▼八幡通り整備に係る設計、測量及び用地取得 ▼路面下空洞調査の実施
			▼市道第9・19・28・304・373・423・609・660・723・726・738・771・836号線 (道路維持・道路新設)
	社会参加への支援	地域福祉計画等策定	▼あいとびあ Rainbowプラン(狛江市第4次地域福祉計画、狛江市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画、狛江市障がい者計画・第5期障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画)策定
		地域の活動機会の確保	▼狛江市シルバー人材センター、老人クラブ等の周知強化 ▼介護予防や生活支援に係る地域活動の担い手の確保に向けた働きかけ ▼総合事業の担い手確保に向けた認定ヘルパー研修等の開催
		駅前仮園舎の活用(福祉作業所の統合)(再掲)	▼元保育園仮園舎改修工事 ▼福祉作業所の暫定的な統合・運用 ▼西野川福祉作業所解体工事
		高齢者の健康増進	▼はつらつ健康セミナーの実施 ▼地域包括支援センターの介護予防活動推進機能の強化 ▼介護予防手帳の作成及び手帳を活用した啓発強化 ▼健康ポイント制度の試行実施 ▼住民主体の介護予防活動を行う団体の育成(1団体目)
	生活環境の整備	地域の社会基盤整備推進	▼知的障がい者福祉サービス事業所整備費に対する補助
		地域包括ケアシステム※ ³ の構築推進	▼機能強化型地域包括支援センター事業の実施 ▼専門相談機関との連携強化によるネットワークの構築 ▼認知症初期集中支援チームの設置・運営 ▼認知症ケアパスの作成に向けた検討 ▼生活支援体制整備事業の実施 ▼地域ケア会議の実施 ▼認知症カフェの試行開設 ▼医療・介護・地域資源ガイドブックの作成 ▼医療・介護・地域資源マップの構築
		総合的見守り体制の整備	▼新たなこまほっとシルバー相談室の設置に向けた検討 ▼見守りネットワーク会議の開催 ▼民間事業者との見守り協定の拡充
		生活困窮者への自立支援	▼生活困窮者自立相談支援事業(自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援、子どもの学習支援事業) ▼フードバンク狛江と連携した生活困窮者への緊急食糧支援の実施 ▼フードバンク事業への家賃助成 ▼居住支援協議会準備会の開催
		災害時要援護者支援体制の構築	▼支援組織との協定締結に基づく避難行動要支援者登録名簿の提供 ▼個別計画策定の検討 ▼新たな災害ベストの作製及び配布

プロジェクト	施策	事業名	新規・拡充した事業
⑤ こま わいのまち プロジェクト「狛江」	商工業の活性化	新たな市場開拓	▼産業競争力強化法に基づく創業支援事業の実施
		にぎわいのある商店街	▼こまえ元気わくわく事業の実施方法を含めた検討
	狛江ブランドの確立	狛江ブランド野菜の確立	▼視察研修会の実施 ▼農業振興計画の策定
		特色ある地域文化の振興(音楽事業・絵手紙事業)	▼「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO」※ ⁴ 2018 プレフェス・ア・コマエ」の開催の準備 ▼「狛江の日」音楽祭の開催
		にぎわいのあるイベントの開催	▼こまえ初春まつりの開催 ▼こまえ桜まつりの開催 ▼花火大会の開催の準備 ▼浮世絵の展示会の開催
		まちの魅力づくり・魅力発信	▼郷土カルタを活用したカルタ大会等の開催 ▼こまえの魅力創作展事業により募集、表彰された創作物の活用 ▼都市計画公園整備に係る用地取得(亀塚)・測量(白井塚)・設計(猪方小川塚) ▼猪方小川塚古墳保存整備工事実施設計 ▼市内の史跡、古墳、旧景観等を繋ぐ散策ルートの検討 ▼ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた魅力の発信
		多摩川の利活用の推進	▼ドッグラン試験運用・検証 ▼駐車場試験運用・検証 ▼多摩川×いきもの×まつりの開催 ▼多摩川土手の天端環境性能舗装工事(元和泉水衝部)の実施、土手の天端の整備に関する考え方に基づく国との協議
		広域連携による魅力の発信	▼多摩川流域自治体交流イベントラリーの開催(市長会助成金活用事業) ▼多摩川流域郷土芸能フェスティバルの開催(市長会助成金活用事業) ▼多摩川流域物産展の開催(市長会助成金活用事業) ▼ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた広域連携の検討
	地域スポーツの振興	スポーツ事業の充実	▼障がい者スポーツの体験・普及事業の実施 ▼各学校が作成したオリンピック・パラリンピックカレンダーに基づいたオリンピック・パラリンピック教育の推進 ▼チャレンジデーの実施 ▼地区対抗リレーの実施 ▼プロ選手等による少年少女スポーツ教室の実施 ▼ラジオ体操会の実施

※1 ICT：情報とコミュニケーションに関する技術の総称

※2 ユニバーサルデザイン：「ユニバーサル」＝「すべての」と「デザイン」＝「計画・設計する」を組み合わせている。すべての人を考慮して計画・設計することを語源にしており、年齢、性別、障がい等、さまざまな人を考慮して、はじめからできるだけすべての人が利用しやすいまち、施設、製品(モノ・道具)、環境、サービス等を創造しようとする考え方をいう。

※3 地域包括ケアシステム：高齢者が可能な限り住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるよう「介護・予防・医療・生活支援・住まい」が一体的かつ切れ目なく提供されるシステム

※4 ラ・フォル・ジュルネ TOKYO：フランスのナントで開催されているラ・フォル・ジュルネの日本版で「一流の演奏を低料金で提供し、明日のクラシック音楽の新しい聴衆を開拓する」というコンセプトのもと開催される、単一のものとしては日本最大級の音楽祭

(2) 後期基本計画の指標に係る進捗管理

①重点プロジェクト

実行プラン(平成29年度ローリング版)では、後期基本計画の重点プロジェクトに係る指標について、平成29年度の目標を定めており、その目標の達成に向けて取り組んだ結果、現状値(平成30年4月1日時点)は以下のとおりとなりました。

また、各指標に係る平成30年度の目標は以下のとおりです。

重点プロジェクト① まちづくり推進プロジェクト

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	29年度 目標	H30. 4. 1 時点の値	30年度 目標	目標値 (31年度)
1	公共施設整備計画による改修等の事業の進捗率(%)	-	75.93	75.93	88.89	100

重点プロジェクト② 安心して安全なまちづくりプロジェクト

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	29年度 目標	H30. 4. 1 時点の値	30年度 目標	目標値 (31年度)
1	避難所運営協議会設置数(件)(累計)	2	13	12	13	13
2	市内刑法犯認知件数のうち、窃盗犯・粗暴犯・その他の合計件数(件)	740 (H22)	400 (H29)	491 (H29速報値)	400 (H30)	640 (H31)
3	修繕を行った道路の延長(m)	-	7,779 (累計)	7,816 (累計)	9,769 (累計)	18,000 (累計)
4	昨年1年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合(%)	18.7	25.0	17.3	28.0	30.0

重点プロジェクト③ 子ども・子育て支援プロジェクト

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	29年度 目標	H30. 4. 1 時点の値	30年度 目標	目標値 (31年度)
1	保育サービスの提供率(%)	92.4 (H24.4.1)	・認可保育所の新設により受入定員を拡充し、保育サービス提供率を向上する。	99.6	・認可保育所の新設及び既存園の定員拡大等により受入定員を拡充し、保育サービス提供率を向上する。	100 (H32.4.1)
2	子育てひろば年間利用者数(人)	25,016	27,750	25,005	26,300	26,300
3	全世帯に対する子育て世帯の割合(%)	14.7 (H24.3.1)	15.2	15.2	15.2	14.7 (H32.3.1)
4	授業でICT機器を活用している教員の割合(%)	59.2	98.0	98.5	99.0	100

重点プロジェクト④ いたわりのあるまちづくりプロジェクト

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	29年度 目標	H30. 4. 1 時点の値	30年度 目標	目標値 (31年度)
1	市内の計画相談支援サービス実施(サービス利用計画作成)事業所数(事業所)	3	・相談支援事業所数の増 ・既存の事業所のサービス利用等計画の作成受入数の増及び相談支援の内容の充実	3	・相談支援事業所数の増 ・既存の事業所のサービス利用等計画の作成受入数の増及び相談支援の内容の充実	5
2	経済的自立により生活保護を廃止した世帯の数(世帯)	25	・計画的な定期訪問等により、世帯の状況を的確に把握し、寄り添った支援を継続的に実施することにより、経済的自立を目指す。	19	・計画的な定期訪問等により、世帯の状況を的確に把握し、寄り添った支援を継続的に実施することにより、経済的自立を目指す。	50
3	施設サービス・地域密着型サービス(グループホーム・小規模多機能)等の整備施設数	-	・今後の介護保険事業計画に基づく施設数(0)	3	・地域密着型サービスの利用を促進していく。	今後の介護保険事業計画に基づく施設数(3)
4	災害時要援護者支援組織設立箇所数(箇所)(累計)	1	12	10	・町会、自治会等に継続して働きかけを行う。	20

重点プロジェクト⑤ にぎわいのまち「狛江」プロジェクト

No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	29年度 目標	H30. 4. 1 時点の値	30年度 目標	目標値 (31年度)
1	新規開発融資制度あっ旋件数(件)(累計)	-	・新たな周知方法として、制度に関するチラシを近隣の金融機関に協力を依頼して配布する。 ・申請期間の要件を緩和し、これまでより利用しやすい制度とする。	1	・件数が伸びなかったため、広報やホームページ等による周知を図るとともに、金融機関や商工会等に周知の協力を依頼する。	21
2	狛江ブランド野菜 [※] 生産農家数(軒)(累計)	-	20	22	23	3
3	週に1回以上の頻度でスポーツ活動をしている市民の割合(%)	38.5	・障がい者スポーツ教室等を開催し、だれでもスポーツに取り組むことができる環境を整備する。	41.1	・各種スポーツ教室等の開催や新設した元和泉市民運動ひろばの利用促進を図ることにより、スポーツを身近に親しむ気運を醸成する。	50.0

※現在は、「狛江ブランド農産物」に名称を変更

②個別施策

個別施策の指標に係る現状値(平成30年4月1日時点)及び平成30年度の目標は、以下のとおりです。

	No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H30. 4. 1 時点の値	めざす 方向性	30年度の目標 (指標の値や取組内容)
I - i まちづくり	1	まちづくり協議会等の設置件数(件)	5	9	↗	・現在進められている協議会に対する支援 ・必要な周知による、まちづくり協議会、地区まちづくり準備会、テーマ型まちづくり協議会等各1件の設立
	2	耐震性能が確保された住宅に住んでいる市民の割合(%)	59.0	70.7	↗	・耐震化に向けた周知(木造住宅耐震相談員派遣業務委託・マンション管理セミナー講師派遣業務委託等) ・木造住宅の耐震アドバイザー・耐震診断・耐震改修・分譲マンションの耐震診断の以下の助成制度の申請数の確保 【木造住宅耐震アドバイザー】40戸 【木造住宅耐震診断】30戸 【木造住宅耐震改修】10戸 【マンションアドバイザー】5回 【分譲マンション耐震診断助成金】1棟
I - ii 交通	3	放置自転車の年間撤去台数(台)	2,408	699	↘	・午後の時間帯の撤去の強化及び時期に応じた撤去回数の見直し
	4	市内交通事故発生件数(件)	211	108 (H29.12末)	↘	・平成29年度に交通安全協会と行政提案型市民協働事業で作成した冊子を活用し、交通安全への意識啓発を図る。 ・警視庁等と協力し、市内2か所目のゾーン30を整備する。
II - i 市民交流	5	町会・自治会未整備地区の面積割合(%)	22.8	10.0	↘	・狛江市町会・自治会連合会と連携し、未整備地区への町会の設立に向けた働きかけと加入促進に向けた取組みの検討
II - ii 市民文化	6	昨年1年間に文化・芸術活動に触れる機会のあった市民の割合(%)	55.8	53.2	↗	・文化・芸術拠点としてのエコルマホールの自主事業の充実、地域文化のさらなる醸成・成熟に向けた取組み ・市民活動・生活情報誌「わっこ」及び生涯学習情報サイト「こまなび電子版」を通じた生涯学習活動への参加促進
	7	エコルマホール稼働率(%)	58.1	63.2	↗	【平成30年度目標値66.2%】 ・自主事業と貸館事業のバランスを考慮した上での稼働率の向上及び指定管理者事業への広報等の支援
II - iii 地域振興	8	日頃から狛江産の野菜を食べている市民の割合(%)	21.4	13.0	↗	・東京都及びJAとも連携し、狛江ブランド農産物の定着を図るため、各種イベントでの直売等による周知を行う。
	9	消費生活相談の相談件数(件)	341	398	↘	・近年は減少傾向にあるが、計画当初値より件数が多いため、引き続き事例集の配布やまなび講座を通じた注意喚起を行う。

	No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H30.4.1 時点の値	めざす 方向性	30年度の目標 (指標の値や取組内容)
Ⅱ－Ⅳ 生涯学習	10	図書館の利用率(%)	19.1	15.9	↗	・図書館利用を案内することで登録者を増やし、継続して利用してもらえるよう魅力ある資料収集に努める。
	11	スポーツ大会参加者数(人)	5,467	5,261	↗	・広報活動を強化し、引き続き種目の検討を行うとともに、会場にオリンピック・パラリンピック関係の展示を行う。
	12	市の歴史や伝統に関心を持ったり、見聞きたことのある市民の割合(%)	57.6	60.2	↗	・猪方小川塚古墳の保存整備を進めるとともに、歴史・文化財に関連する講座・文化財めぐり、小学校への出前講座、古民家園における体験学習等を通じて、市民の関心度向上に努める。
Ⅱ－Ⅴ 防災・防犯	13	自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)	60.6	59.3	↗	・安心安全啓発機関紙「安心安全通信」の発行や、気軽に防災知識を習得できる機会を提供する「防災カレッジ」の開催等により、市民の防災意識の向上に努める。
	14	耐震化していない公共施設数(施設)	12	1	↘	・耐震化していない教育研究所を建て替え、子育て・教育支援複合施設として整備するにあたって、教育研究所解体工事(教育研究所一時移転)を行う。
	15	空き巣・ひったくり・振り込め詐欺などの犯罪に対して何らかの対策をとったり、心がけていることがある市民の割合(%)	59.6	55.6	↗	・安心安全啓発機関紙「安心安全通信」の発行や、調布警察署と連携した特殊詐欺被害防止に向けた取組み等により、市民の防犯意識の向上に努める。
Ⅲ－ⅰ 子育て	16	認可保育所受入定員数(人)	920	1,689	↗	・新設認可保育園(2園)の整備による受入定員の拡大(210人程度)
	17	子ども家庭支援センターでの相談受理事件数(件)	94	127	↗	・子育てひろば等での声かけを継続して行い、引き続き相談しやすい体制作りや周知に努めていく。
	18	ファミリー・サポート・センター事業会員数(人)	1,042	1,355	↗	・広報等での周知、窓口による案内の実施
Ⅲ－ⅱ 青少年	19	児童館・児童センターの年間利用者数(人)	31,728	31,081	↗	・学童クラブ児童と一般来館児が共存しながら、利用しやすい環境整備に努めるとともに、工夫したプログラムを実施していく。 ・児童センターは、併設の子ども家庭支援センターとの分離があるが、分離後も円滑に事業が実施できるよう、事業全体の見直しを図る。
	20	学童クラブ入所・入会者数(人)	448	585	↗	・定員枠の拡充についての検討

	No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H30.4.1 時点の値	めざす 方向性	30年度の目標 (指標の値や取組内容)
Ⅲ－ⅲ 学校教育	21	特別支援教室を設置している学校数(校)	0	小学校6校 中学校4校	↗	・全校実施済み
	22	学校安全ボランティア登録者数(人)	170	183	↗	・募集強化月間 ・守助セット(キャップ・ベスト・横断旗)の配布
	23	非構造部材耐震化学 校数(校)	0	校舎0 屋体10	↗	・引き続き、校舎の非構造部材の耐震化を進める。
	24	空調設備を設置して いる教室数(室)	265	298	↗	300
Ⅳ－ⅰ 地域福祉	25	笑顔サービス協力会 員数(人)	105	107	↗	・ポスターやチラシの配布、町会・自治会 回覧板や新聞折込を活用した周知を行う。
	26	民間施設ユニバーサル デザイン推進事業 補助 [※] 件数(件)	0	3	↗	・これまでの補助実績をモデルケースとした 分かりやすい周知チラシを商工会や金融 機関等に配置することで、さらなる活用の 推進を図る。

※平成27年度に「みんなにやさしい生活空間づくり推進事業補助金」に名称を変更

Ⅳ－ⅱ 高齢者福祉	27	高齢者に対する総合 相談事業相談件数 (件)	3,454	4,846	↗	・継続的な市・包括・関係機関との役割分 担と協働体制の構築に努め、支援が必要な 方への適切な支援を行う。
	28	日頃から地域の行事 や活動に参加したり、 他の人と触れあ う機会のある高齢者 の割合(%)	51.9	42.9	↗	・引き続き、活動場所の拡充と周知を図り つつ、市民の関心が高い介護予防には、他 の人との関わりが有効である旨を積極的に PRする。
	29	特定高齢者の介護予 防事業参加率(%)	10	—	↗	・介護予防事業への参加者数延べ3,200人 ・介護予防の意識啓発と活動に取り組める 場の拡充を図る。

※No.29については、介護保険制度の改正により制度上「特定高齢者」という考え方がなくなったため、特定高齢者を抽出する取組みも廃止となり、指標の算出が不可能となった。

Ⅳ－ⅲ 障がい者福祉	30	障がい者の支援に関 する相談件数(件)	4,454	4,810	↗	・ワンストップの相談支援体制の構築を継 続する。相談支援専門員等との定期的な情 報共有により複層的な問題に対し、それぞ れ適切な機関に繋ぎ、連携して支援に取り 組む。
	31	外出支援サービス (移動支援)利用時間 数(時間)	6,971	12,018	↗	13,300時間/年 ・知的障がい者移動支援従業者研修を実施 し、支援者の養成とサービスの向上を図 る。
	32	新たに就労した障が い者の人数(人)	8	31	↗	・職場見学や実習の機会の提供、保護者や 支援者及び企業に向けて、障がい者就労へ の周知・啓発のための説明会を実施し、就 労数の増加を目指す。また、企業への訪問 等により、職場開拓と現在就労している障 がい者及び雇用している企業に向けて、職 場定着支援の充実を図る。

	No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H30.4.1 時点の値	めざす 方向性	30年度の目標 (指標の値や取組内容)
IV－iv 生活福祉	33	生活保護受給世帯のうち就労者のいる世帯の割合(65歳以上の方のみの世帯を除く)(%)	71.0	61.5	↗	・計画的な定期訪問等により、世帯の状況を的確に把握し、寄り添った支援を継続的に実施することにより、各ケースに応じた就労支援に繋げていく。
	34	生活保護受給世帯の小・中学生のうち、学力向上や進学に関する支援を受けている人の割合(%)	0	39.1	↗	・計画的な定期訪問等により、世帯の状況を的確に把握し、生活困窮者自立支援制度における子どもの学習支援等の学力向上や進学に関する支援に繋げる。
IV－v 保健・医療	35	食育関連事業の参加者数(人)	144	522	↗	・平成29年3月策定の狛江市食育推進計画(第2次)に基づき、料理教室や講習会等を実施する。
	36	国民健康保険特定健康診査受診率(%)	42.6	47.3	↗	・52.0%(狛江市特定健康診査等実施計画)
	37	健康増進事業の参加者数(人)	13,319	10,811	↗	・健康セミナーコースの変更及び周知活動の継続による参加者拡大
	38	かかりつけ医がいる市民の割合(%)	70.8	68.2	↗	・市内医療機関等を掲載した医療・介護・地域資源マップシステムの普及
	39	国民健康保険被保険者1人当たり年間医療費(円)	280,530	335,269	→	・ジェネリック医薬品差額通知、重複・頻回受診者に対する訪問指導の実施 ・糖尿病性腎症重症化予防に向けた保健指導、健診異常値放置者に対する受診勧奨の実施 ・柔道整復師施術の療養費の適正化に向けた二次点検の実施 ・特定健診受診者拡大のための周知活動 ・若年層に向けたセルフ健康チェックサービスの実施
V－i 自然環境	40	多摩川・野川対象のイベント等の参加者数(人)	5,783	2,023 (多摩川統一清掃) 2,697 (その他)	↗	・水辺の楽校、多摩川統一清掃、野川美化清掃の実施 ・野川、多摩川を対象とした生きもの調査の実施 ・多摩川外来種対策としてアレチウリ駆除イベントの実施及び市民に対する周知・啓発 ・平成29年台風21号の影響による狛江水辺の楽校の復旧清掃活動の実施
	41	雨水管渠の整備率(%)	69.0	77.0	↗	77.2
	42	雨水浸透ます設置基数(基)	3,547 (累計)	8,045 (累計)	↗	8,225 (累計)
	43	樹林地・都市公園・児童遊園の合計面積(m ²)	121,310	126,207	↗	・国・都の補助金等の調査・研究

	No.	指標(単位)	計画当初値 (23年度)	H30.4.1 時点の値	めざす 方向性	30年度の目標 (指標の値や取組内容)
V－ii 循環型社会	44	市民1人当たりの年間ごみ排出量(kg/年)	274.81	245.55	↘	・子どもへの4Rの普及に努め、中間処理施設見学等、更なるごみ排出量の削減と資源化率の向上に取り組む。
	45	ごみの資源化率(%)	37.7	37.6	↗	・こまeco通信を活用して、資源物や発火物等の適正排出の促進を啓発する。
	46	資源物の資源化量のうち、集団回収分が占める割合(%)	23.6	23.5	↗	・集団回収実施団体へのフォローアップ ・新規回収団体増加のためのPR
V－iii 環境保全	47	市内の年間二酸化炭素排出量(t/年)	115,256	—※	↘	・家庭、事業所等への省エネルギー及び再生可能エネルギー機器の設置促進及び蓄電池等の設置促進に向けた調査・研究
	48	市内の太陽光発電設備の累計設置数(軒)	317	—※	↗	・地球温暖化対策住宅用設備設置助成金交付制度における太陽光発電システム・HEMSの設置促進

※No.47・48については、電力自由化による電気事業者の多様化に伴い、指標の算出が不可能となった。

登録番号(刊行物番号)

H30-21

狛江市実行プラン
(進捗管理 平成30年度版)

平成30年8月発行

発 行	狛江市
編 集	企画財政部 政策室
	狛江市和泉本町一丁目1番5号
	電話 03(3430)1111
印 刷	庁内印刷
頒布価格	20円